#### 月刊 住宅情報誌 躍 進 2025年(令和7年)11月1日(土)

#### 第275号



- 1 美観復活に外壁洗浄をお薦めいたします!
- 2 | 羅針盤 | 「したいこと」と「やるべきこと」
- 4 スカイコートW絶大な人気!
- 6 躍進が考える企業の危機管理 ④
- 8 ペットを考える

## 美観復活に外壁洗浄をお薦めいたします!



建物の美観復活には躍進の外壁洗浄をお薦めいたします。躍進の外壁洗浄は、家の外壁の汚れ・カビ・藻などが気になる方、特に北側の外壁の汚れがひどい方、塗装するほどではないが掃除の仕方が分からない方やできない方のために新築時の輝きを取り戻します。

外壁洗浄による美観の回復**(写真参照)** は時間もコストもかからず工期も軒高 9mまでなら1日で完了し、足場を組むこともないため費用も平米単価 850 円からとなっています。

その工法は非常に建物に優しいものです。伸縮ポールを使っての作業であり、外壁に負担・ダメージの少ない低圧施工となっております。使用薬剤も次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤等で済みます。

外壁洗浄は建物健康診断のようなものです。是非この機会にご検討いただければと存じます。お見積もりは無料です。ご注文、お問い合わせは躍進までお気軽にご連絡ください。

## 「したいこと」と「やるべきこと」

笠 井 輝 九



雖針盤

## 優先順位を間違えない

一般的な考えに則れば、自分の「したいこと」はあくまで個人的な問題です。それに対して「やるべきこと」が本来の仕事です。それは組織(会社)とお客様に何ができるのかだけでなく、躍進5原則を考えて、自分のやるべき課題を見つけ実行するべきでしょう。

しかし個人的な意見として、趣味・道楽の「したいこと」も「やるべきこと」と優劣なくどんどんやってほしいと思っています。「したいこと」があるために「やるべきこと」のモチベーションが上がるからです。

ただ優先順位を間違えてはいけません。まずは「やるべきこと」をきちんとやらないと、「したいこと」にも悪影響が出るものです。優先順位を考えながら、両方を同時進行していくことが理想的です。

## 本当は〇〇したいのに…

その「したいこと」は、前述の趣味・道楽なのか、それとも本来やりたい仕事なのかの 2 つに分かれると思います。

趣味・道楽が生き甲斐となると、前述のような「やるべきこと」との同時並行は難しいでしょう。仕事は趣味・道楽を維持するための最低限の糧を得る手段に過ぎず、まさに優 先順位が逆になっているからです。

当然、仕事で自己実現・自己超越しようなどとは考えないので、アルバイト並みのモチベーションで「やるべきこと」に臨み、昇給や昇進にも興味を示しません。そのうえ、残業や出張、転勤などの影響で、生き甲斐の趣味・道楽が破綻するようであれば、何の躊躇もなく退職していきます。趣味・道楽の「したいこと」も仕事として「やるべきこと」も優劣なくどんどんやるのは理想論かもしれません。

一方、仕事として「本当は○○したいのに、仕方なく□□をやっている」人は救いがあります。いずれ本来「したいこと」を手掛けるチャンスが巡ってくることを待つことができるので、現在手掛けている不本意な仕事でもきちんと成果を上げてくるからです。

それでも例外はあります。報酬が高く「こんなにもらえるのなら我慢しよう」と考える人や、日本人の誰もが知っている超有名企業に勤務し、そこの社員であることにアイデンティティを感じている人なら、「本当は○○したいのに、仕方なく□□をやっている」ことも受け入れて「やるべきこと」をきちんとやってくれるでしょう。

しかし、1年365日趣味・道楽などの「したいこと」にだけ心血を注ぎたいタイプの人には、「やるべきこと」に対する責任感が希薄どころか、全く無い人もいます。

こういう人は、「したいこと」と「やるべきこと」の優先順位が逆なので、それなりのポジションでそれなりの仕事をやってもらうしかありません。定年退職時まで平社員でも文句は言わないでしょう。

## 適材適所実現は企業トップの責任

しかし皮肉なもので、1年365日趣味・道楽などの「したいこと」に心血を注いでいる人がやりたくない「やるべきこと」を手掛けたケースのほうが、成果を上げる確率が高いのです。理由は簡単です。「やるべきこと」でもやりたくないのだから、とっとと切り上げたくて仕事を早く仕上げてしまうからです。

この本質を見抜けない企業トップや上司が、「君はなかなかこの仕事に向いているようだ。ならばもっと難易度の高い仕事にチャレンジしなさい」などと言おうものなら、「やりたくないから早く終わらせ自宅に逃げ帰っているんだ!そんなことも分からないのなら辞める!」となって、会社の戦力ダウンを誘発します。

そこで問われるのは、企業トップや上司の人を見る目の無さです。つまり、真の意味での適材適所を実現できておらず、ある意味では優秀な人材を失うことになるからです。それよりも、成果を出していることと、残業しないで会社に余計な人的コストをかけていないことを認め、趣味・道楽だけでなく、仕事として本当に「したいこと」の部署に異動させることを実現すべきでしょう。

しかしこれまた皮肉なことに、「したいこと」ができる部署に異動させたとたん、意外にもその仕事が向いていなくて一向に成果に結びつけられないケースが多いのも事実です。いずれにしても適材適所実現は企業トップの責任であり、「したいこと」と「やるべきこと」の優先順位の明確化こそ成果を生む必要条件であることを忘れないでください。

## スカイコートW絶大な人気! 水系ウレタン樹脂

#### タイル仕上げの魅力を生かす

強靭で柔軟な被膜を形成するタイル張り面の透明外壁防水材『スカイコートW』は、も うすっかりおなじみになりました。これからの冬の季節にかけてご注文が殺到するため、 既にお問い合わせが多く寄せられています。

透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした、1 液型外壁用透明防水材です。透明な 塗膜なので、タイル仕上げの意匠性をそのままに、雨水の侵入を防ぐことができます。



## オール水系



プライマーを含め、すべての構成材料は水系であり、危険物を一切含んでいないため、 引火や中毒の危険がなく、居住者・作業者・環境にやさしい材料といえます。

#### 抜群の高性能被膜

ウレタン樹脂の特性を生かし、強靭で柔軟な被膜を形成し、驚異的なひび割れ追従性 (20mm 以上)、抗張積 (2670N/mm) を備えています (写真参照)。

また、専用プライマーにより、磁器タイルのような吸い込みの少ない下地へも強固に接着し、タイルの剥落の予防に寄与します。





#### 優れた施工性

すべての構成材料は、1 液型のため煩雑な混合作業は必要ありません。壁面施工でもダレ難く、適度なレベリング性により、フラットな仕上がりになります。

## 防カビ・防藻機能

防カビ・防藻機能を付与しており、不快なカビや藻の発生を抑制します。

## 施工仕様

工程		使用材料	塗布量(kg/m²)	塗布回数	塗布間隔(目安)	塗装方法
1	プライマー	スカイコートWプライマー	0.1~0.2	1	春秋 約2時間 夏 約2時間 冬 約3時間	ローラー
2	防水層①	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
3	防水層②	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
4	トップコート	スカイコートWトップ	0.1~0.2	1~2		刷毛、ローラー

高い防水性に加えて、意匠性の確保や、施工性の高さなど、各方面で多大な評価をいただき、手前味噌になりますが絶大な人気を誇っております。そして、秋から冬だけでなくオールシーズンにわたって『スカイコートW』は人気があります!『スカイコートW』のご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

# 躍進が考える 企業の危機管理 4



笠井 軍夫 概羅進代表取締役会長

## 知識は知恵の基本

経営資源に対する危機管理連載 4 回目の今回は、知恵をテーマといたします。そして、知識と知恵の違いを問われたら、「知識は知恵の基本であり、知識を応用したものが知恵」と答えます。

分かりやすい例を挙げれば、医師や弁護士、建築士は、いわゆる専門知識が必要不可欠です。「病気を治してあげたい」「困っている人を助けたい」「良い家を建てたい」という皆様には高度な医療知識、法律、建築技術に関する知識を修得しなくてはなりません。

しかし「知っている」だけなら知識のまま留まるに過ぎません。それをいかに実情に沿った形で役立てる応用力こそ知恵の本質なのです。まさに朱子学(知識だけ)と陽明学(知行合一=知恵をもって実践する)の違いのようなものです。

知恵のないお医者さんは藪医者と、弁護士なら三百代言(さんびゃくだいげん)と、建築士ならさしずめ「施工不良原因製造機」と揶揄(やゆ)されるのです。

その点手前味噌になりますが、躍進は点検業務をはじめ、防水、防蟻(木材保存)、塗装に関する高度な知識を用いて、担当者の能力に基づいた知恵に昇華させ、おかげさまで高評価をいただいている次第です。

## 経験と広い視野なくして知恵なし

つまり知恵があるからこそ成果を生むことができるのです。しかしその知恵は、努力という継続力、徳という人間力、実践経験に基づく判断力で構成されます。知識ばかり頭に 詰め込んでも、自動的に知恵に生まれ変わるわけがないのです。 知恵は場数を踏んで経験を増やすことと、視野を広げ異分野からも参考知識を取り入れることで知恵は生まれます。

経験は実証実験そのもので、その実験結果の良し悪しを選別して知恵となすのです。実態に即した良い結果は、必ず現場に生かされます。それを積み重ねるほど、知恵は輝きを増していくのです。

また自分の専門分野から一歩外に出ると、そこには知識を知恵に変えてくれるヒントが多いのも事実です。ある経営コンサルタントは、まったく興味がないにも拘らず、売れっ子アイドルグループのコンサートに足繁く通っているのです。

目的はそのアイドルではありません。「なぜこのアイドルグループは売れるのか」という ノウハウを自分の目で探すためです。そのためには舞台をくまなく観察するだけでなく、 観客に対して何気なく、「あなたにとってこのグループにしかない魅力は?」などと調査し ているのです。

そうすることで、自分の業界では決してあり得ない物の見方に気付き、視野が広がった 感触を得て、知識を知恵に昇華させる技術に役立てられるのです。まさに、経験と広い視 野なくして知恵なしといっても過言ではありません。

## 知恵は身を助ける

専門知識を生かした知恵は、ビジネスばかりに生かされるものではありません。プライベートでも大きな力を発揮します。

例えば今年の1月に都内において、外国人にオーナーチェンジした賃貸マンションにおいて、それまで7万1500円だった家賃を、いきなり19万円に値上げすると一方的に通告してきた事件がありました。

それだけではなく、共用通路の照明を消したり、住人のゴミをわざと収集させなかったりするなどの嫌がらせが相次いだため、入居者はどんどん退居していったのです。

しかし居残った住民の中に、元不動産仲介業を営んでいた人がいて、「家賃の値上げは貸 主・借主双方の合意に基づくもの」「数々のいやがらせ行為は威力及び偽計業務妨害に当た る」として、オーナーを相手取り裁判を起こし勝訴して家賃を元の値段に戻させたのです。

まさに「芸は身を助ける」のように、「知恵は身を助ける」ことを証明した事案です。知 恵は経営資源に留まらず、生きるうえでも欠かせない要素であることを認識しましょう。

## ペットを考える 住宅コラム

いまやペットは家族の一員です。それどころかアニマルセラピーが大きな効果を発揮するため、積極的に犬猫を飼う人たちが増えている傾向にあります。ペットの餌という言葉はすでに死語で、かならず「ごはん」という人が圧倒的に多くなりました。

賃貸マンションやアパートでも、ペットを飼っても良い物件が多くなったのですが、やはり「小型犬まで」「猫1匹につき家賃1万円の割増」など制約が多いのも事実です。

しかし、新築したり、購入した住宅をペットが過ごしやすい環境に整える建材が数多く 出回るようになり、室内犬や猫が歩くときにストレスを感じないようにするため、わざわ ざフローリングにカーペットを敷いたり、猫の爪とぎを防ぐため腰壁にアルミホイルを張 り付けたりしなくてもよくなっているのです。

汚れにくい住宅用タイルカーペットをはじめ、ペットの爪で傷つきにくい床材や、猫の爪とぎでも傷つかない高い耐久性を誇る壁紙など、数えだしたらきりがありません。

しかし前述の、ペットを飼っても良い賃貸物件のすべてがこうした建材を用いているわけではないのです。その場合はオーナーと相談して、リフォームの許可をもらえるように、工務店様やビルダー様は、お施主様のお役に立てるように交渉のお手伝いもするべきでしょう。

「私たちはペットを飼わない」と言っている人でも、赤ん坊の捨て猫を拾ってきて、「このまま放置してはこの子が死んでしまう」と情が移ってしまい、それがきっかけでペット愛好家になったという話はめずらしくありません。

また、子供が成人し家を出て行ってしまい、夫婦 2 人だけのご家庭では会話がなくなる ものです。特段に話すことがないからです。しかし、そんな老夫婦のコミュニケーション の橋渡しをしてくれるのがペットです。

自分や配偶者について話すことはなくても、「昨日○○ちゃん(ペットの名前)が、1日中元気がなくて寝てばかりいるのよ」「じゃあこれから獣医さんに診せに行かなきゃ」となるのです。こうした一助になることも工務店様、ビルダー様のお役目と心得てください。

